

2017(平成29)年3月期 第2四半期決算補足資料

(2016年4月1日～2016年9月30日)

1. 2017.3期 第2四半期実績

(百万円)

	'17.3期2Q 実績	'16.3期2Q 実績	前年同期比		'17.3期 修正予想 (11/8発表)	進捗率
			増減	増減率		
売上高	15,085	15,954	-868	-5.4%	29,650	50.9%
営業利益	783	2,050	-1,267	-61.8%	1,250	62.6%
経常利益	1,376	2,575	-1,198	-46.5%	2,650	51.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,013	1,941	-927	-47.8%	2,000	50.7%
研究開発費	4,109	3,749	+359	+9.6%	7,850	52.3%
研究開発費率	27.2%	23.5%	+3.7pt	-	26.5%	-
営業利益率	5.2%	12.9%	-7.7pt	-	4.2%	-
1株当たり四半期純利益(円)	17.87	34.18	-16.31	-	35.30	-
期中平均レート(US\$/円)	105.35	121.80	-16.45	-	※ 103.00	-

※第3Q以降前提

＜実績と前年同期実績との増減要因＞

売上高：米国ジェル・ワンや国内医薬品の数量が増加した一方で、円高や国内における薬価引き下げの影響により減収。

(-868)

なお、売上高全体への円高影響は約-710百万円。

・国内アルツは、市場全体が横這いで推移するなか、医療機関納入本数が新容器投入や販売提携先の拡販努力により微増(前年同期比 市場+0.4%、アルツ+3.5%)。当社売上は、数量が増加したものの、薬価引き下げの影響を受け減少。

・オペガン類は、シェルガンの好調な立ち上がりにより、医療機関納入本数が増加(前年同期比 市場+4.3%、オペガン類+4.8%)。当社売上は、薬価引き下げの影響を数量増でカバーし微増。

・米国向けジェル・ワンは、現地販売が約3割増加。当社売上も、円高影響を数量増で補い増加。

・米国向けスパルツFXは、競合環境が厳しく、現地販売は微減。当社売上は前年同期に出荷が集中した反動や、円高の影響を受け減少。

営業利益：円高や薬価引き下げに伴う原価率の上昇や、米国における腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603のオープン試験

(-1,267)

進展等に伴う研究開発費の増加等により、減益。

四半期純利益：投資有価証券売却益の減少や為替評価損が発生したマイナス要因の一方で、受取ロイヤリティーという

(-927)

プラス要因が有り減益。

2. 2017.3期 通期業績予想

(百万円)

	'17.3期 修正予想 (11/8発表)	'17.3期 期首予想 (5/12発表)	期首予想比		'16.3期 実績	前期比	
			増減	増減率		増減	増減率
売上高	29,650	29,550	+100	+0.3%	30,962	-1,312	-4.2%
営業利益	1,250	1,000	+250	+25.0%	2,144	-894	-41.7%
経常利益	2,650	3,350	-700	-20.9%	3,500	-850	-24.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,000	2,550	-550	-21.6%	2,578	-578	-22.4%
研究開発費	7,850	8,400	-550	-6.5%	8,649	-799	-9.2%
研究開発費率	26.5%	28.4%	-1.9pt	-	27.9%	-1.4pt	-
営業利益率	4.2%	3.4%	+0.8pt	-	6.9%	-2.7pt	-
1株当たり当期純利益(円)	35.30	45.00	-9.70	-	45.39	-10.09	-
期中平均レート(US\$/円)	※ 103.00	110.00	-7.00	-	120.14	-17.14	-

※第3Q以降前提

＜修正予想と期首予想との差異＞

売上高：海外医薬品やLAL事業が円高の影響を受ける一方、国内医薬品が堅調に推移し、期首予想並み。

(+100)

営業利益：研究開発費を中心とした経費の見直しにより、期首予想を上回る見込み。

(+250)

当期純利益：受取ロイヤリティーの減少や為替評価損の増加により、期首予想を下回る見込み。

(-550)

3. 損益計算書の状況

①原価率

	'17.3期2Q 実績	'16.3期2Q 実績	前年同期比 増減
原価率	43.6%	41.0%	+2.6pt

	'17.3期 修正予想	'17.3期 期首予想	期首予想比 増減	'16.3期 実績	前期比 増減
原価率	43.8%	42.0%	+1.8pt	41.6%	+2.2pt

②販管費率

	'17.3期2Q 実績	'16.3期2Q 実績	前年同期比 増減
販管費率	51.3%	46.1%	+5.2pt

	'17.3期 修正予想	'17.3期 期首予想	期首予想比 増減	'16.3期 実績	前期比 増減
販管費率	51.9%	54.7%	-2.8pt	51.5%	+0.4pt

③設備投資額・減価償却費

(百万円)

	'17.3期2Q 実績	'16.3期2Q 実績	前年同期比	
			増減	増減率
設備投資額	623	1,296	-673	-51.9%
減価償却費	1,452	1,567	-115	-7.4%

	'17.3期 修正予想	'17.3期 期首予想	期首予想比		'16.3期 実績	前期比	
			増減	増減率		増減	増減率
設備投資額	1,550	1,700	-150	-8.8%	1,975	-425	-21.6%
減価償却費	2,950	3,000	-50	-1.7%	3,191	-241	-7.6%

④金融収支

(百万円)

	'17.3期2Q 実績	'16.3期2Q 実績	前年同期比	
			増減	増減率
受取利息・配当金	185	166	18	+11.0%
支払利息	16	19	-2	-13.4%
金融収支	168	147	20	+14.2%

4. セグメント別売上高

①2017.3期 第2四半期実績

(百万円)

	'17.3期2Q 実績	'16.3期2Q 実績	前年同期比		'17.3期 修正予想 (11/8発表)	進捗率
			増減	増減率		
【医薬品事業】	12,281	13,201	-919	-7.0%	24,500	50.1%
国内医薬品	8,518	8,709	-190	-2.2%	16,250	52.4%
海外医薬品	3,227	3,830	-603	-15.7%	7,100	45.5%
医薬品原体	536	661	-125	-18.9%	1,150	46.6%
【LAL事業】	2,803	2,753	+50	+1.8%	5,150	54.4%
合計	15,085	15,954	-868	-5.4%	29,650	50.9%
(海外売上高)	5,408	6,013	-604	-10.1%	11,000	49.2%

②2017.3期 通期業績予想

(百万円)

	'17.3期 修正予想 (11/8発表)	'17.3期 期首予想 (5/12発表)	期首予想比		'16.3期 実績	前期比	
			増減	増減率		増減	増減率
【医薬品事業】	24,500	24,300	+200	+0.8%	25,518	-1,018	-4.0%
国内医薬品	16,250	15,900	+350	+2.2%	16,928	-678	-4.0%
海外医薬品	7,100	7,350	-250	-3.4%	7,300	-200	-2.7%
医薬品原体	1,150	1,050	+100	+9.5%	1,289	-139	-10.8%
【LAL事業】	5,150	5,250	-100	-1.9%	5,444	-294	-5.4%
合計	29,650	29,550	+100	+0.3%	30,962	-1,312	-4.2%
(海外売上高)	11,000	11,400	-400	-3.5%	11,581	-581	-5.0%